

菊水

学校ホームページアドレス <http://www.kikusui-e.sapporo-c.ed.jp/>

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年度4月に6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。この調査は、児童の学力や学習状況を把握することにより教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として行われました。調査の結果を受け、全国的な状況との関係において、本校の調査結果の概要、課題、改善の方向についてお知らせします。なお、調査対象は6年生ですが、本校の教育の6年間における成果及び課題としてとらえ、今後の教育改善に役立てたいと考えております。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

各教科とも改善の方向として、言語活動を中心とした子ども同士の学び合いを基本に、以下のような活動の充実を図る。

	国語	算数	理科
【区分及び領域】	<ul style="list-style-type: none"> ◆【思考力、判断力、表現力等】の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で、平均正答率が、全国平均より下回っている。 ◆【知識及び技能】の「言葉の特徴や使い方に関する事項」について平均正答率が、全国平均より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「数と計算」「図形」の二領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。 ◆「変化と関係」の領域で、平均正答率が全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 ◆「データの活用」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆A区分「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。 ◆B区分「生命」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
今回の調査における課題	<ul style="list-style-type: none"> ●立場や意図を明確にしなが ら、伝えたいことや聞きたい ことを中心に捉え、自分の考 えをまとめること。 ●登場人物の相互関係につい て描写を基に捉え、人物像や 物語の全体像を具体的に想 像すること。 ●文章全体の構成や書き表し 方に着目して文章を整えたり、 よりよい文章について考 えたりすること。 ●学年別漢字配当表に示され ている漢字を文の中で正し く使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●二つの数の最小公倍数を求 めることができること。 ●示された場面を解釈し、立式 の理由を記述できること。 ●図形を構成する要素に着目し て、様々な図形の意味や性質、 構成の仕方について理解して いること。 ●百分率の表し方を理解し、割 合・基準量・比較量を求める ことができること。 ●分類整理されたデータを基 に、目的に応じてデータの特 徴を捉え考察できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ●結果を見通して問題を解決 するまでの道筋を構想し、自分 の考えをもてること。 ●実験の結果、自然の現象から の情報を、問題の視点で分析 して解釈し、自分の考えをもち、 その内容を記述すること。 ●実験観察の結果と追加された 情報を基に、問題に対するま とめを検討して改善し、自分 の考えをもち、記述すること ができること。
改善の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いから互いの意見の共通点や相違 点をまとめ、検討したことを踏まえ、自 分の考えをまとめる学習活動の充実。 ○着目した叙述から考えられることをま とめたり、交流したりすることで物語の 全体像を捉える学習活動の充実。 ○互いの書いた文章の感想や意見を伝え 合うことを基にしながら推敲し、文章の よさを見付ける学習活動の充実。 ○文章を書く際に、辞典を利用することを 促すなどして、漢字を使うことを意識し た活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の問題を解決するために、目的 に応じて数量の関係に着目し、数の処理 （除法や倍数等）の仕方を理解したり、 活用したりする活動の充実。 ○図形の構成要素や性質などを確実に理 解させていくとともに、作図の仕方を多 様に考えたり、その筋道を立てて説明し たりする活動の充実。 ○日常の具体的な場面に対応させながら、 図や線分図を用いて、割合・基準量・比 較量を求める活動の充実 ○表やグラフからデータの特徴や傾向を 読み取り、数量の関係を式に表すなどの 活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題に対して根拠のある予想や仮説を 立て、結果を見通して、解決の方法を発 想する活動の充実。 ○実験観察などを行った結果を事実とし て分析し、解釈したことを結論の根拠と して表現する活動の充実。 ○記録の整理の仕方を工夫して、互いの結 果を比較しやすいように促したり、意見 交換の場を設定したりして、様々な視点 から考えを柔軟に見直し、その妥当性を 検討して表現する活動の充実。

【全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えしています。】

- ・ +3.1 ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・ +3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・ 全国平均と同じ ⇒ 「ほぼ同程度」
- ・ -3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・ -3.1 ポイント以下 ⇒ 「下回っている」

児童質問紙調査結果より

◆ 「児童質問紙調査」…学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査

◆ 全国と比較して肯定的に回答した割合が同程度または上回っているもの (単位:%)

質問事項	本校	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか	83.3	79.3	4.0
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	80.0	72.5	7.5
人が困っているときは、進んで助けていますか	91.7	88.9	2.8
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	76.6	73.5	3.1

*上表は肯定的な回答について全国と比較して、同程度または上回った主な項目です。この結果からは、自分をよりよいものへと成長させていこうとする意欲や、他者と協同的に取り組もうとする思いが窺えます。関連した質問で若干下回った内容もありますので、引き続き自己肯定感を高めていく充実した教育活動を目指していきます。

◆ 全国と比較して肯定的に回答した割合が下回っているもの (単位:%)

質問事項	本校	全国	差
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	68.4	77.3	-8.9
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	50.0	68.4	-18.4
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	70.0	78.2	-8.2
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	65.0	73.8	-8.8
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	68.3	80.0	-11.7

*全国と比較して、肯定的に回答した割合が下回っている項目のうち、差異の大きい主な項目です。学力状況調査の結果や普段の学習の様子と関連付けて考察すると、学習については基礎的な学力をしっかりと身に付けさせるとともに、主体的・対話的な学びをより一層充実させていく必要があると考えます。

◆ 全国と比較して本校の特徴的な傾向をあらわしている項目 (単位:%)

項目	本校	全国	差
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含みます。）をしますか ※「4時間以上」「3時間以上4時間より少ない」と回答した割合	60.0	30.7	29.3
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※「1時間以上」を回答した割合	51.7	59.4	-7.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか ※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合	33.3	52.7	-19.4

*本校の特徴的な傾向をあらわしている主な項目です。特に『普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか』という質問に対して、「3時間以上」という回答が全国平均よりかなり高い結果となっています。「テレビゲームの時間」、「家庭学習の時間」などについては、ご家庭のお声掛けが必要となります。子どもたちの健やかな成長におけるご協力をお願いいたします。